

アカアシクワガタ

オスは28mm～58mm、メスは29mm～38mmほどの大きさです。
色はほぼ黒色ですが、脚と腹部が赤味を帯びていることが特徴です。

主に標高1,000m付近の落葉樹林などに生息します。
成虫が見られるのは、6月～8月ころまでです。やや昼行性（ちゆうこうせい）で、ブナやヤナギの樹液に集まります。

メスは交尾後、落葉樹などの朽木の周辺に産卵します。孵化（ふか）した幼虫は、その朽木の材を食べて成長し、1、2年で成虫になります。成虫はその年で死んでしまいます。

富士市での現状

標高1,200m付近のブナ林で確認されました。かつてより減少していると考えられます。



アカアシクワガタを確認したメッシュ

